



①卒業証書とチューリップを手に、ジャンプ！②保護者の見守る中、卒業生退場。③一斉にスマホで撮影。④「お世話になりました」のメッセージを添えた花束。⑤吉岡校長を始め、先生方に花束を渡しました。



3/12 THU

♪春繚乱の花咲けば♪
 玖波中学校では、36人の生徒が学び舎を巣立っていききました。卒業を祝うかのような春の穏やかな日差しの中、式を終えた生徒らは、立ち去り難く、先生との別れの言葉を交わす姿がありました。これから進む道、校歌のようにきっと春繚乱の花が咲いていることでしょう。



3/12 THU



⑤弾ける若さ！心も体も空中浮遊。⑥在校生代表の神谷くん。「先輩方が築いたふるさと小方学園の伝統を受け継ぎ発展させていきます」と決意。⑦西川くんは答辞で「産んでくれてありがとう」と親への感謝を表しました。⑧うれし悲しの卒業式。

乗り越えてきたことを信じて前進

小方中学校

新型コロナウイルスの影響で休校となっていた市内3つの中学校で、卒業式が挙行されました。

小方中学校では、卒業生61人が教職員や保護者らに見守られる中、思い出のつまった母校を後に、新たな一歩を踏み出しました。

コロナウイルス感染拡大防止のため、在校生は代表1人の出席。少し寂しくはありましたが、卒業生らは名前を呼ばれると、力強い返事で応えます。

在校生代表の2年生の神谷憲汰くんは、部活や数々の行事の思い出を振り返り「小方学園をリードしてくださった先輩方の姿を忘れません」と、言葉を贈りました。卒業生代表の西川翔也くんは、「大きな壁にぶつかったとき、逃げ出したくなるようなとき、中学校で乗り越えてきたことを信じて前進していきます」と、決意の言葉で返します。

式の終了後、中庭では先生に感謝の花束が贈られたり、友達との別れを惜しんだりする光景が見られました。



①マスクはしているけど、カーネーションを手にニコリ。②先生に渡す花束と、先生の名前を織り込んだ感謝の言葉を書いた色紙。③先生に花束を贈り感謝の意を表します。④卒業証書はクラスを代表して天野真飛路くん(左)と内田堅葵くん(右)が受けました。天野くんは「みんなを代表して受け取ったので緊張しました。卒業してもみんなと仲良くしていきたい」。



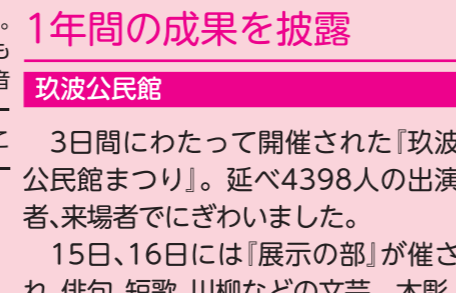
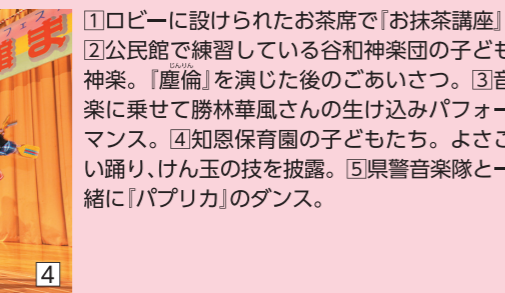
⑨答辞の結びの言葉に乗せて合唱の演奏が始まります。⑩♪人生の宝物です～♪卒業生の歌声が会場に響き渡ります。⑪校舎の壁に祝電やメッセージが貼られました。



2/16 SUN



2/15 SAT



2/23 SUN



①ロビーに設けられたお茶席で『お抹茶講座』。②公民館で練習している谷和神楽団の子ども神楽。『塵論』を演じた後のごあいさつ。③音楽に乗せて勝林華風さんの生け込みパフォーマンス。④知恩保育園の子どもたち。よさこい踊り、けん玉の技を披露。⑤県警音楽隊と一緒に「パプリカ」のダンス。

1年間の成果を披露

玖波公民館

3日間にわたって開催された「玖波公民館まつり」。延べ4398人の出演者、来場者でにぎわいました。

15日、16日には『展示の部』が催され、俳句、短歌、川柳などの文芸。木彫、手描き友禅などの工芸。書道、華道、写真など、1年間の成果に来場者は見入っていました。

展示のほかにも『スパイスカレー講座』や『歴史講座』、コンサートなど、多彩な催しがありました。

23日の『発表の部』のオープニングは、県警音楽隊の演奏。ヒット曲の『パプリカ』を中学生たちと踊り、会場一体となり大いに盛り上がりしました。